

# 岐阜県における肝炎ウイルス検査の実施状況について

## 1 肝炎ウイルス検査の実施状況

肝炎ウイルス検査は、①市町村による健康増進事業と②都道府県・保健所設置市・特別区による特定感染症検査等事業の2つにより、肝炎を起因とする健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的に実施している。

表 1 健康増進事業の肝炎ウイルス検査の実施体制

| 事業           | 実施主体                  | 対象者と実施方法   |
|--------------|-----------------------|--|
| ① 健康増進事業     | 市町村                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 40 歳の住民</li> <li>・ 40 歳以外の住民（市町村ごとに対象者と負担額を設定）</li> </ul>                     |
| ② 特定感染症検査等事業 | 都道府県<br>保健所設置市<br>特別区 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康増進事業対象外の方で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方</li> <li>・ 保健所または委託医療機関で無料検査を実施</li> </ul> |

岐阜県における令和 3 年度の 20～74 歳人口 10 万人当たり肝炎ウイルス検査件数は、健康増進事業で 584 人、特定感染症検査等事業（保健所設置市含む）で 55、両事業合わせて 639 人であった。未受検者率は考慮していないが、47 都道府県中では 41 位であった。

なお、東日本では健康増進事業、西日本では特定感染症検査等事業の受検者が多い傾向がある（図 1）。

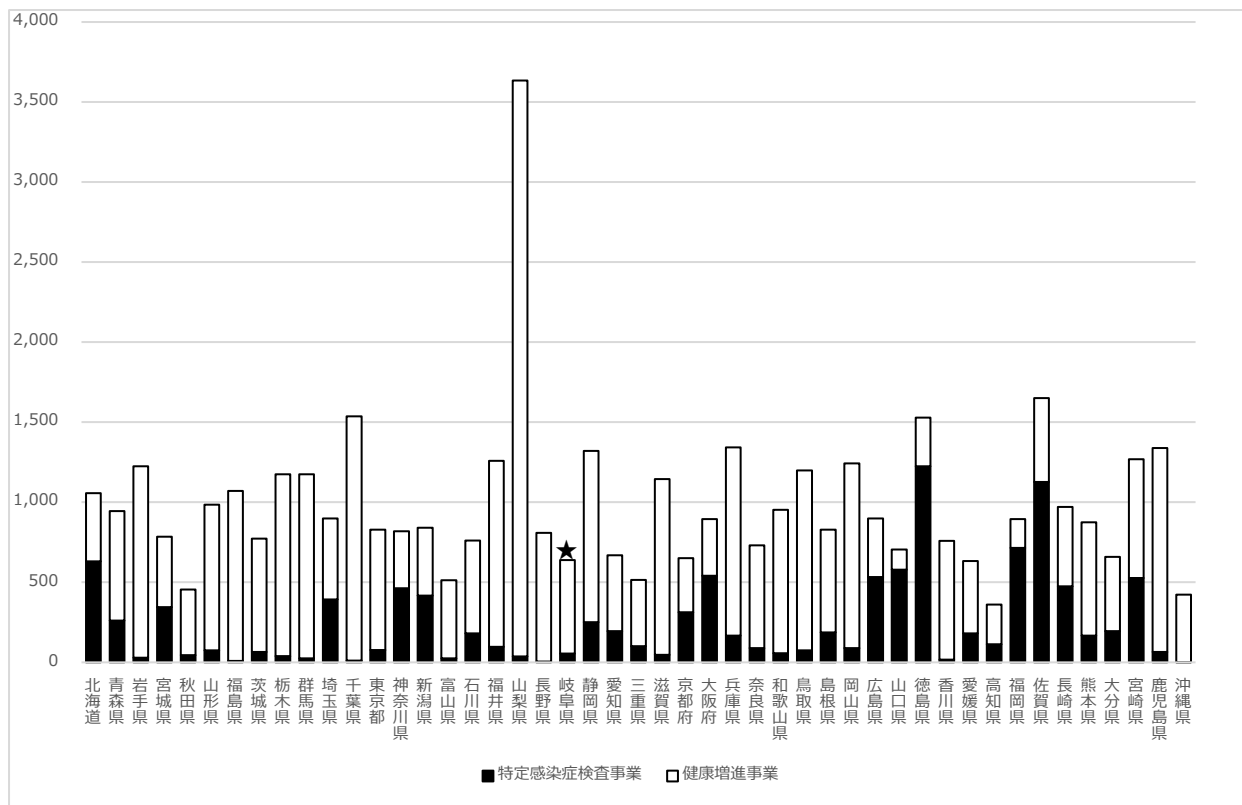


図 1 20～74 歳人口 10 万人当たり肝炎ウイルス検査件数（令和 3 年度）

## 2 健康増進事業（市町村）の肝炎ウイルス検査

### （1）健康増進事業による検査の実施状況

健康増進事業の肝炎ウイルス検査件数は、平成 27 年度までは未受診者への個別勧奨が 5 年間行われたため、年間約 12,000 人が受診したが、平成 28 年度に個別勧奨が終了したことから、受検者数は減少傾向にある。平成 29 年度には再勧奨を行った関市、土岐市、飛騨市等の市町村により受検者数が増加したが、勧奨が終了した平成 30 年度から再び減少傾向にある。

また、B 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルスの発見率はともに年ごとの増減はあるが、受検者数の増減に関わらず減少傾向にある（表 2、図 2）。

表 2 健康増進事業の肝炎ウイルス検査実施状況（平成 27～令和 3 年度）

| 年度  | H27  | H28              | H29              | H30              | R1               | R2               | R3               |
|-----|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| B 型 | 受検者  | 12,326           | 8,865            | 11,145           | 9,308            | 9,098            | 8,054            |
|     | 陽性者  | 75               | 49               | 50               | 52               | 43               | 31               |
|     | 発見率※ | 0.61%<br>(0.69%) | 0.55%<br>(0.60%) | 0.44%<br>(0.60%) | 0.56%<br>(0.59%) | 0.47%<br>(0.55%) | 0.41%<br>(0.54%) |
| C 型 | 受検者  | 12,365           | 8,960            | 11,165           | 9,329            | 9,107            | 8,066            |
|     | 陽性者  | 21               | 11               | 19               | 10               | 7                | 9                |
|     | 発見率※ | 0.17%<br>(0.33%) | 0.12%<br>(0.30%) | 0.17%<br>(0.40%) | 0.11%<br>(0.26%) | 0.09%<br>(0.22%) | 0.11%<br>(0.21%) |

※発見率の下段（）は全国の実績



図 2 肝炎ウイルス検査受検者数と感染者率の推移（左：B型、右：C型）

## (2) 人口 10 万人当たり受検者数について

市町村別に 40 歳～74 歳人口 10 万人当たりの肝炎ウイルス検査受検者数は、市町村ごとに大きな差があった (図 3)。

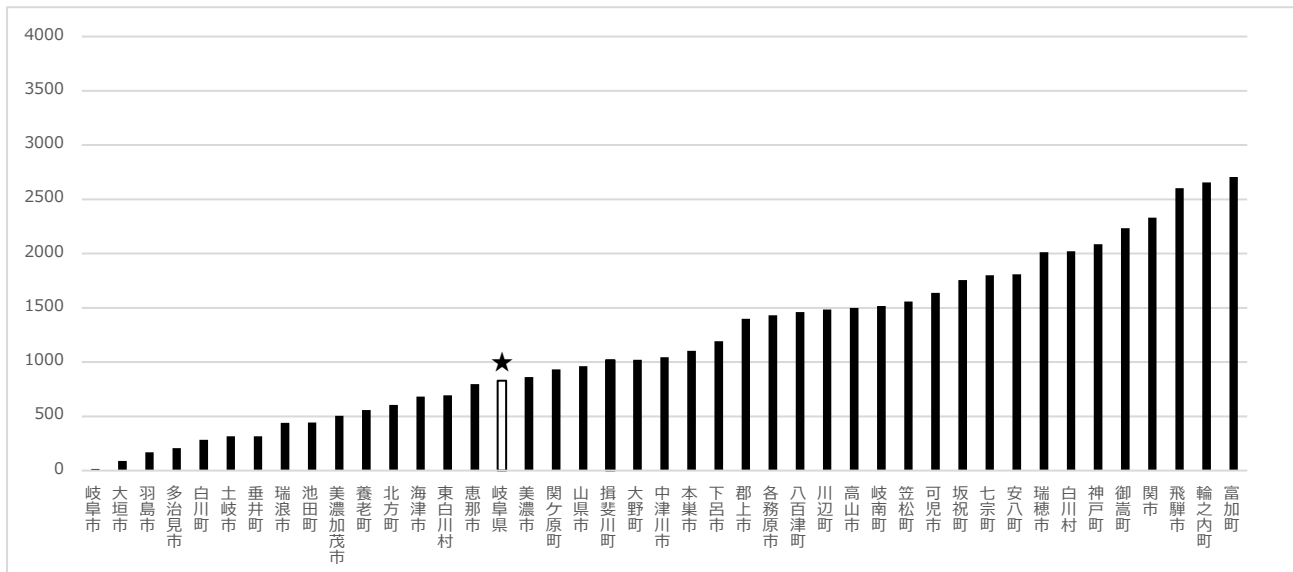


図 3 市町村別の 40 歳～74 歳人口 10 万人当たり肝炎ウイルス検査受検数 (令和 3 年度)

岐阜県における各市町村の 40 歳～74 歳人口 10 万人当たりの肝炎ウイルス検査受診者数を図 4 に示す。

受診者数下位 5 位の市町村には、県内で人口の多い岐阜市、大垣市が含まれており、肝炎ウイルス検査対象者が多い市町村の受診者数を増やすことが、県全体の受診者数の増加につながると考えられる。

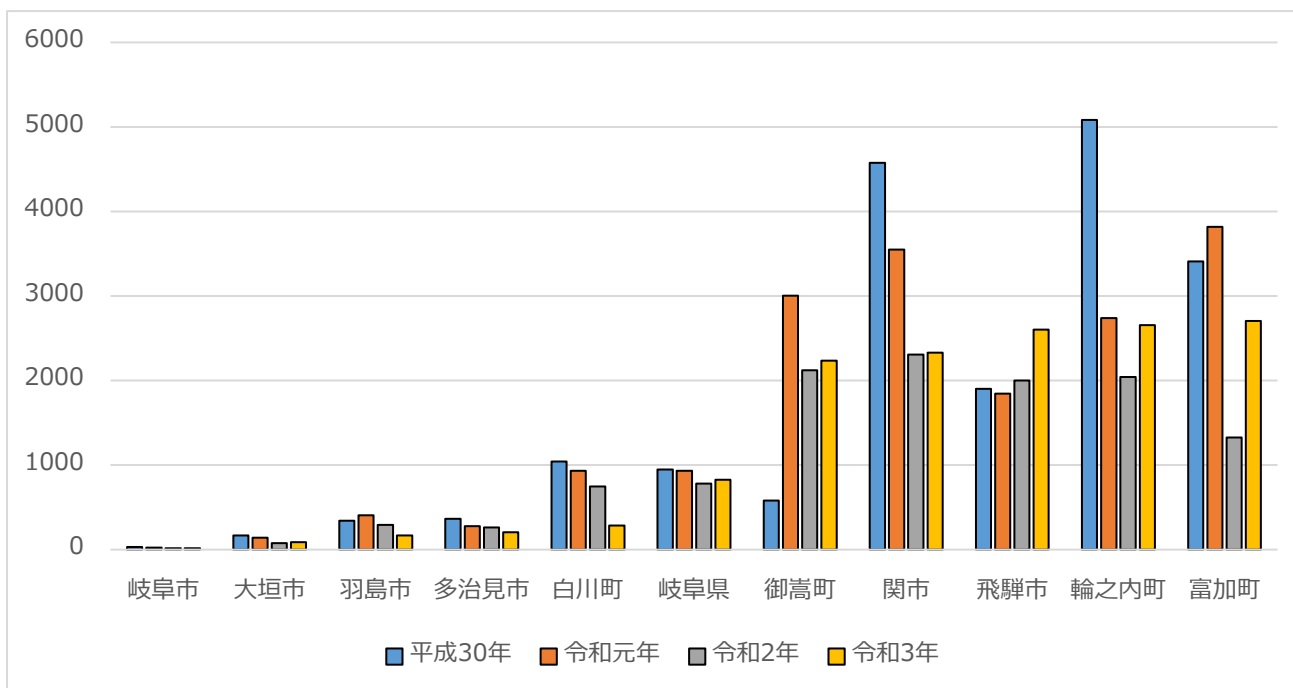


図 4 市町村別 40 歳～74 歳人口 10 万人当たりの肝炎ウイルス検査受検者数 (受検者数上位 5 位及び下位 5 位：平成 29 年～令和 3 年度)

### 3 特定感染症検査等事業（岐阜県及び岐阜市）の肝炎ウイルス検査

#### （1）岐阜県（岐阜市を含む）の特定感染症検査等事業による肝炎ウイルス検査の実施状況

特定感染症検査等事業の肝炎ウイルス検査受検者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、保健所の受検者は令和2年度に約50%減少し、令和4年度も同数を推移していた。委託医療機関の受検者数は、例年600人程度を推移しているが、令和4年度は約50%減少していた（表3、表4）。

岐阜県の令和4年度の20～74歳人口10万人当たりの肝炎ウイルス検査件数は、保健所で11人、委託医療機関で45人、両機関合わせて56人であった。特定感染症等検査事業における肝炎ウイルス検査の受検者数の高い県は、委託医療機関による受検者が多い傾向にある（図5）。

表3 特定感染症検査等事業における検査結果（B型肝炎ウイルス）

| 年度  | 保健所 |     |      | 委託医療機関 |     |      | 合計  |     |      |
|-----|-----|-----|------|--------|-----|------|-----|-----|------|
|     | 受検者 | 感染者 | 発見率  | 受検者    | 感染者 | 発見率  | 受検者 | 感染者 | 発見率  |
| H30 | 336 | 1   | 0.3% | 629    | 3   | 0.5% | 965 | 4   | 0.4% |
| R1  | 304 | 3   | 1.0% | 574    | 6   | 1.0% | 878 | 9   | 1.0% |
| R2  | 147 | 0   | 0.0% | 577    | 9   | 1.6% | 724 | 9   | 1.2% |
| R3  | 147 | 0   | 0.0% | 607    | 6   | 1.0% | 754 | 6   | 0.8% |
| R4  | 147 | 0   | 0.0% | 344    | 3   | 0.9% | 491 | 3   | 0.6% |

表4 特定感染症検査等事業における検査結果（C型肝炎ウイルス）

| 年度  | 保健所 |     |      | 委託医療機関 |     |      | 合計  |     |      |
|-----|-----|-----|------|--------|-----|------|-----|-----|------|
|     | 受診者 | 感染者 | 発見率  | 受診者    | 感染者 | 発見率  | 受診者 | 感染者 | 発見率  |
| H30 | 335 | 5   | 1.5% | 629    | 5   | 0.8% | 964 | 10  | 1.0% |
| R1  | 304 | 2   | 0.7% | 574    | 1   | 0.2% | 878 | 3   | 0.3% |
| R2  | 147 | 1   | 0.7% | 577    | 1   | 0.2% | 724 | 2   | 0.3% |
| R3  | 147 | 0   | 0.0% | 607    | 2   | 0.3% | 754 | 2   | 0.3% |
| R4  | 147 | 0   | 0.0% | 344    | 1   | 0.3% | 491 | 1   | 0.2% |

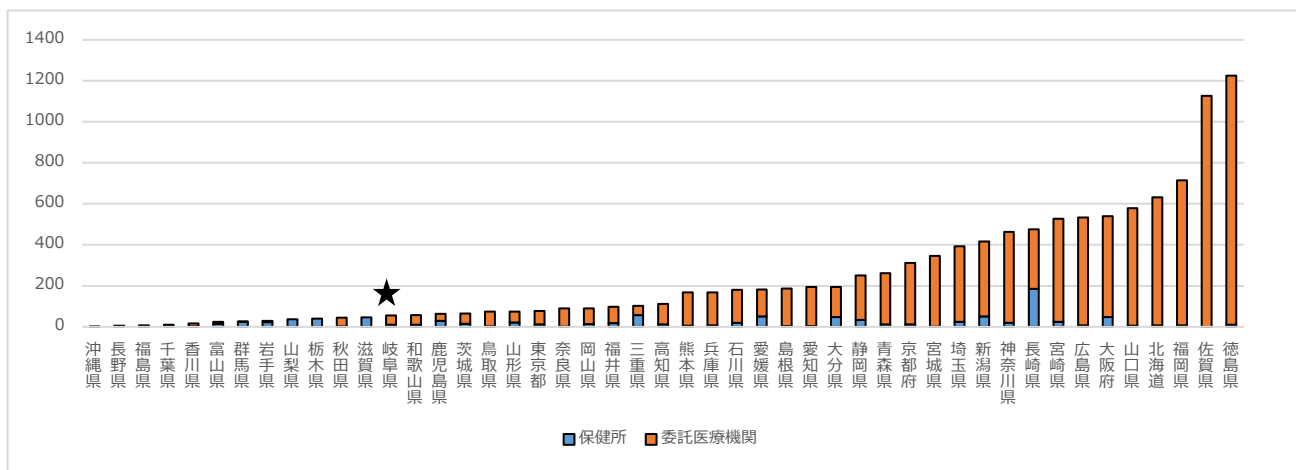


図5 20～74歳人口10万人当たり全国における特定感染症検査等事業検査件数

(2) 岐阜県（岐阜市を除く）の委託医療機関における肝炎ウイルス検査実施状況

令和4年度の岐阜県の委託医療機関数は575施設あるが、肝炎ウイルス検査を実施した医療機関は60施設（10.4%）であり、圏域ごとに比較すると岐阜圏域が最も多く、48.3%を占めている（図6）。また、検査数は実施機関によって差があり、1名のみ実施している医療機関が最も多く、例年、約半数を占めている（表5）。

これらのことから、委託医療機関で検査を行っていない施設に対し、事業の周知・啓発を行い、検査を行っている施設については検査数を促進させる対策が必要となる。

表5 委託医療機関における肝炎ウイルス検査実施数（岐阜県：平成30年度～令和4年度）

| 検査数      | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|----------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 1名       | 66     | 56    | 37    | 34    | 37    |
| 2名       | 32     | 25    | 17    | 10    | 9     |
| 3名       | 10     | 7     | 7     | 7     | 3     |
| 4名       | 7      | 5     | 3     | 5     | 2     |
| 5名       | 4      | 3     | 0     | 0     | 0     |
| 6～10名    | 7      | 6     | 9     | 4     | 6     |
| 11～15名   | 2      | 2     | 6     | 3     | 1     |
| 16～20名   | 1      | 2     | 1     | 1     | 1     |
| 21名～     | 2      | 2     | 1     | 3     | 1     |
| 合計（医療機関） | 131    | 108   | 81    | 67    | 60    |

※岐阜市保健所管轄分を除く

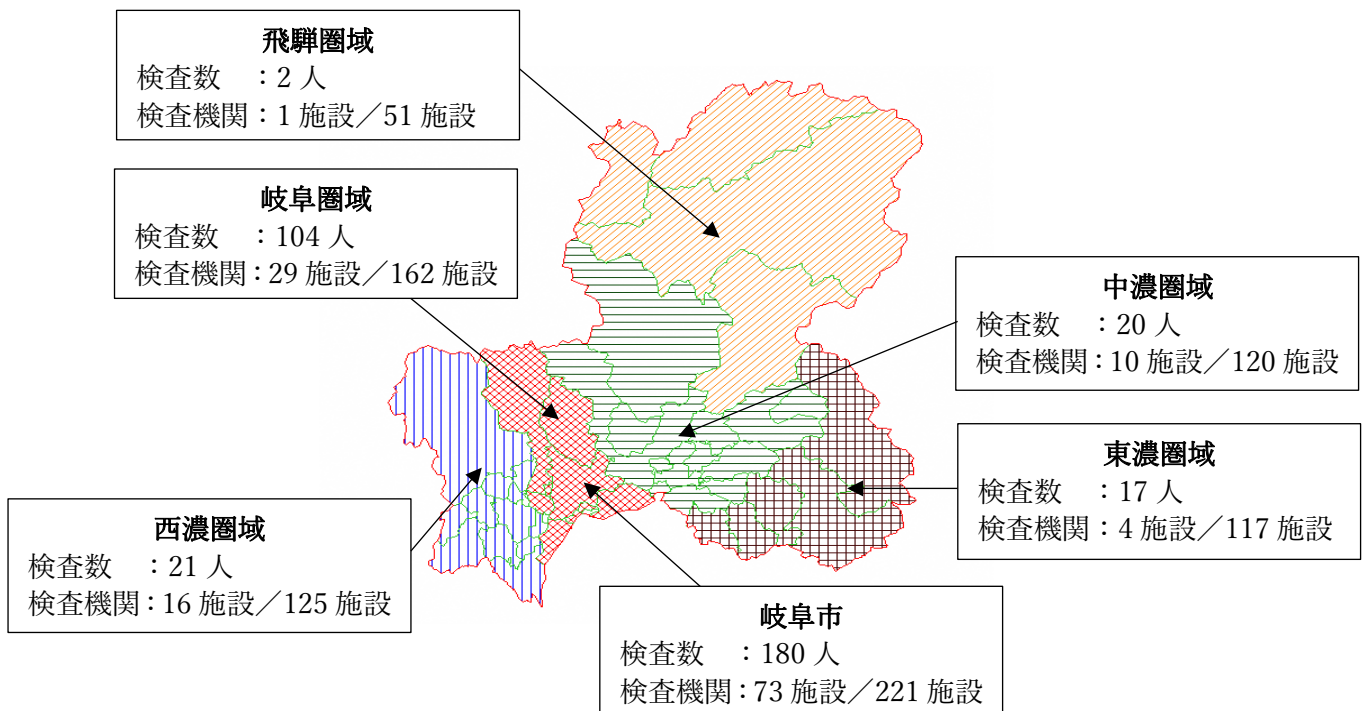


図6 各圏域別 委託医療機関の検査数及び検査機関数（岐阜県：令和4年度）

### (3) 肝炎ウイルス検査事業の調査結果

岐阜県では、効果的な周知方法を検討するため、令和2年7月より肝炎ウイルス委託検査申込（問診）票兼結果票を変更し、問診票にフォローアップ同意欄を設けている。令和5年10月末時点における調査件数は490件であり、そのうちフォローアップ事業への同意件数は475件（96.9%）であった。受診動機は、医療機関で知った割合が77.5%で最も高く、次に医療機関・薬局等にてチラシ・ポスターで知った割合が14.3%であった（表6）。いずれも医療機関にて無料肝炎ウイルス検査を把握する割合が高いことから、当該事業の周知は医療機関を通じて行うことが有用であると考えられる。

表6 新様式におけるアンケート調査結果

| 項目                | 回答数 (%)     |
|-------------------|-------------|
| 友人・知人             | 20 (4.1%)   |
| 医療機関              | 370 (75.5%) |
| 保健所               | 12 (2.4%)   |
| テレビ               | 13 (2.7%)   |
| ラジオ・新聞            | 6 (1.2%)    |
| チラシ・ポスター          | 70 (14.3%)  |
| 医療機関・薬局           | 53 (10.1%)  |
| 保健所、市町村（保健センター）   | 11 (2.2%)   |
| 県ホームページ、その他ホームページ | 24 (4.9%)   |
| 回答なし              | 4 (0.8%)    |

複数回答あり

## 4 課題

### (1) 健康増進事業

- ・B型肝炎ウイルス及びC型肝炎ウイルスの陽性者数は、全国平均より少ないが、人口10万人当たりの肝炎ウイルス検査件数は全国的にも少ない。
- ・市町村によって受検数に差があり、受検率の低い市町村の中には、人口の多い岐阜市、大垣市及び多治見市が含まれている。

### (2) 特定感染症検査等事業

- ・岐阜県の20～74歳人口10万人当たりの肝炎ウイルス検査件数は、保健所及び委託医療機関ともに全国平均より低い。
- ・委託医療機関のうち、制度を利用して肝炎ウイルス検査を実施した医療機関は約10%程度であり、受験者数も各圏域において地域差がある。

## 5 今後の取り組み（案）

- ・県内市町村の肝炎ウイルスの受診者数の多い自治体の取り組み状況や他の都道府県の取り組み状況を把握し、県内の市町村と共有するとともに、岐阜県全体の肝炎ウイルス検査受診向上を図る。

- ・次年度当初に開催を検討している行政担当者の肝炎医療コーディネーター講習会において、健康増進事業の好事例を紹介、意見交換をする機会を設けることを検討する。
- ・無料の肝炎ウイルス検査は、アンケートにおいて委託医療機関によって探知しているため、効果的な広報（医療機関宛てリーフレットの配布増加、ポスター等の作成）を検討する。また、より多くの県民に周知するため、チラシの配布場所について医療機関とは別にコンビニや郵便局等への配布を検討する。
- ・肝炎ウイルス検査の医療機関委託検査について、問診票兼結果票の様式を県ホームページ上に掲載を行い、医療機関への様式の配布を省略し、検査数の向上を図る。